

2022年1月11日

各位

会社名 株式会社 ブイキューブ
 代表者名 代表取締役社長 間下 直晃
 (コード番号: 3681 東証第一部)
 問合せ先 取締役 CFO 経営企画本部長 山本 一輝
 (TEL. 03-6625-5011)

業績予想の修正に関するお知らせ

最新の業績動向を踏まえ、2021年12月期(2021年1月1日～2021年12月31日)の連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

2021年12月期通期連結業績予想の修正(2021年1月1日～2021年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	13,000	2,400	2,300	2,000	81円23銭
今回修正予想(B)	11,500	1,400	1,250	1,150	46円49銭
増減額(B-A)	△1,500	△1,000	△1,050	△850	
増減率(%)	△11.5	△41.7	△45.7	△42.5	
(参考)前期実績 (2020年12月期)	8,282	1,046	1,020	1,138	47円10銭

(注) 今回修正予想(B)において、1株当たり当期純利益は2021年12月期末時点の株数で算出しております。

(修正の理由)

2021年12月期第2四半期まで特にイベントDX事業の急成長が業績を牽引してまいりましたが、製薬業界における小規模イベント配信が第3四半期以降に急減し、また、この傾向は第4四半期も顕著に続いたこと等により、売上高は当初想定を下回る見込みとなりました。

また、営業利益につきましても、前述の製薬業界の小規模イベント急減の影響の他、エンタープライズDX事業における大型案件の翌期以降への納期ずれ、Zoom等の再販商品比率の増加等の影響により、予想を下回る見込みとなりました。

2022年12月期は、イベントDX事業における、堅調に拡大を続ける様々な業界での中・大規模や高付加価値案件へのシフトや、急激に発生した事業構造の変化への適応、オペレーション効率化による収益性の改善を進めるとともに、サードプレイスDX事業における本日開始のテレビCMを含めた積極的なマーケティング投資を通じ、今後に向けた成長加速の年と位置づけ、中期経営計画における2022年12月期の計画を売上高139億円、営業利益20億円、親会社株主に帰属する当期純利益15億円と変更させていただきました。

以上の詳細につきましては、同日発表資料「2021年12月期並びに中期経営計画の数値修正について」をご覧ください。

なお、本業績予想は本日時点の見通しであり、今後の決算手続きおよび監査の結果により変動する可能性がございます。

以 上